

事務事業名		子育て支援活動・交流の促進事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	04安全が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	15子育て支援の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	02地域における支援体制の整備		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 不明 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	03	02	01	02
根拠法令										
所属	部課名	生活福祉部地域福祉課								
	課長名	熊澤正彦								
	係名	児童家庭係	電話	0192-27-3111						
	担当者	千葉史恵	内線	184						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
異年齢児交流や世代間交流などの保育事業を展開し、地域内における子育て支援体制の整備を図るため、地域に最も密着した保育施設である民間保育所に「子育て支援活動・交流の促進事業」を委託する。 【手順】 ①委託契約②委託料支払い(5月に前金払い)③実績報告 【委託単価】 1施設あたり年間150,000円。						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)	0	
								人件費		
正規職員従事人数										
延べ業務時間										
人件費計(B)	0									
トータルコスト(A)+(B)	0									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 民間保育所に委託した。 (H24年度は敬老会・七夕会・もちつき会・昔遊び交流等を実施した。)			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
			名称		単位					
			ア	民間保育所数	園					
			イ							
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同様。 事業内容は保育所の地域色を活かしてしてもらう。			ウ							
			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)							
			名称		単位					
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 民間保育所			カ	民間保育所数	園					
			キ							
			ク							
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 異年齢児交流や世代間交流などの保育事業を展開できる。			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)							
			名称		単位					
			サ	事業参加者数(児童・地域住民延べ人数)	人					
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安心して子どもを産み育ててもらう。			シ							
			ス							
(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)	
		都道府県支出金	千円	675						
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	675	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	
		事業費計(A)	千円	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	
		人件費計(B)	千円	80	80	80	80	80	80	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,430	1,430	1,430	1,430	1,430	1,430	
		⑤活動指標		ア	園	9	9	9	9	9
				イ						
ウ										
⑥対象指標		カ	園	9	9	9	9	9		
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	7,144	8,804	7,365	7,500	7,500	7,500	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0228	事務事業名	子育て支援活動・交流の促進事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 国・県の補助事業導入により開始。
 保育所を地域の保育資源として活用し、住民参加型の保育環境を整備する目的で開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 平成17年度から国の補助金ではなく、交付金対象として実施している。(次世代育成支援対策交付金)
 平成23年度からは子育て支援交付金。
 平成24年度からは交付税措置となり、一般財源化。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	保育所の持つ専門的機能を保育所の中だけでなく地域にも提供することにより、地域との結びつき強化し地域の子育てを支援することができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	本事業により生活環境の変化や価値観の多様化により希薄化する地域社会の中で、保育所が地域と交流することで、新たな交流の場の創造が図られる。このように地域にある保育所の多機能性や専門性を地域還元する事業は、市が実施すべき事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	全ての民間保育所で実施しているため、対象の設定は妥当である。 異年齢児交流や世代間交流の保育事業を展開することにより、地域における支援体制の強化が図られ、子育て支援の推進につながる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	保育所と地域が連携して事業を行うことにより、成果は達成されている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	不審者対応等で、平日の保育所には鍵つきの門、インターホン、監視カメラが設置され地域住民が気軽に出入りできる状況ではない。廃止・休止した場合、地域の子育て力の低下がさらに進むと思われる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	類似事業がない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	現在の事業費は事業継続のために必要な最低限の金額に抑えられていることから、事業費を削減した場合、十分な活動を行うことが困難となる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	市が委託している事業であり、それにかかる保育所からの書類の審査や手続き等には、ある程度の時間は必要である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	児童と地域住民の交流機会を目的とするもので、受益者負担金が発生するものではない。

事務事業ID	0228	事務事業名	子育て支援活動・交流の促進事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) それぞれの保育所独自の事業が展開され、子ども達が地域で生活しているという意識を地域住民とともに認識できた。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 少子化、核家族化が進む中、子ども達が異世代の人たちとの交流する機会を設けることにより、均衡の取れた人格の形成を図るため、事業の継続は必要である。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 より多くの地域住民を巻き込んだ事業の展開を保育所に期待したい。																							

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 地域福祉課長	(氏 名) 熊澤正彦
-------	-------------------------------	---------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 申請に伴う交付事務等も適正に行われている。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 少子化、核家族化が進む中、民間保育園で行われる異年齢児交流、世代間交流等の事業に対する補助であり、今後も継続して実施しなければならない。																					
		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
--